

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	テクニカル3	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ベース）	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	上野 一郎	実務経験の有無・職種	有・プロベーシスト		
<b>学習目的</b>					
<p>この科目を受講する学生は、ベースという楽器の特性や演奏の仕方を理解し、音楽の中でベースラインを自由に作れるようになることを目指す。同時にコード理論・構成音を把握した上で対応できるスケールを使用しラインを構築できるようになることを目的とする。</p> <p>基礎的な理論・技術を再確認し、フィジカルなトレーニングで身に付けたテクニックを最大限に引き出せるように蓄積したものを反映できるようにしていく。卒業ライブでの成果を上げることも目的の1つである。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>基礎的な演奏能力をしっかりと身に付けること。また各種イベント、Real Dreams、卒業ライブ、外部オーディション等に対応できるように知識と技術を向上させることを目標とする。</p> <p>また様々なジャンルに対応できるテクニックを習得し卒業後も幅広く活動できる能力を身に付けることも目標である。</p> <p>技術と知識は表裏一体であることを重んじていく事が技術向上の最大のポイントである。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	<p>この授業では、基本的なリズムやビートなどベーシストにとって重要な概念の理解、音楽理論の理解、演奏能力の向上を目指し、譜面によるエクササイズとそのエクササイズによる練習曲を交互に行っていく。</p> <p>また楽曲分析を行い、適切な音選びが行えるように指導していく。</p>				
注意点	<p>この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。配布資料は毎回持参、毎回のレッスンにて習得したテクニックは反復練習を欠かさず行う事。フィジカルなトレーニングがメインになるので体調管理も必要である。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・演技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	スケールの理解とトレーニング①	マイナーペンタトニック、ブルーススケール、ミクソリディアンスケールの理解			
2回	スケールの理解とトレーニング②	マイナーペンタトニック、ブルーススケール、ミクソリディアンスケールと調性についての理解			
3回	音価のコントロール	ひとつひとつの音を大事に理解しながら引くこと			
4回	フィンガリングトレーニング①	早いパッセージを正確に弾くこと			
5回	フィンガリングトレーニング②	アルペジオを正確に弾くこと			
6回	楽曲におけるベースラインとは	全体のベースライン構成を把握しながら演奏する			
7回	スケールの理解とトレーニング③	マイナーペンタトニックスケールについて理解を深める			
8回	フィンガリングトレーニング③	早いパッセージをひとつひとつ正確に弾いていく			
9回	フィンガリングトレーニング④	早いパッセージをひとつひとつ正確に弾いていく 転調への対応			
10回	リズムバリエーション①	テンポをできる限り上げて弾いてみる			
11回	リズムバリエーション②	全体を正確に弾いてみる			
12回	音楽理論とライトトレーニング①	アルペジオをバランス良く正確に弾く			
13回	音楽理論とライトトレーニング①	コード進行を正確に認識して演奏する			
14回	リズムバリエーショントレーニング	テンポをできる限り上げて弾いてみる			
15回	前期まとめ	全体を正確に弾いてみる			